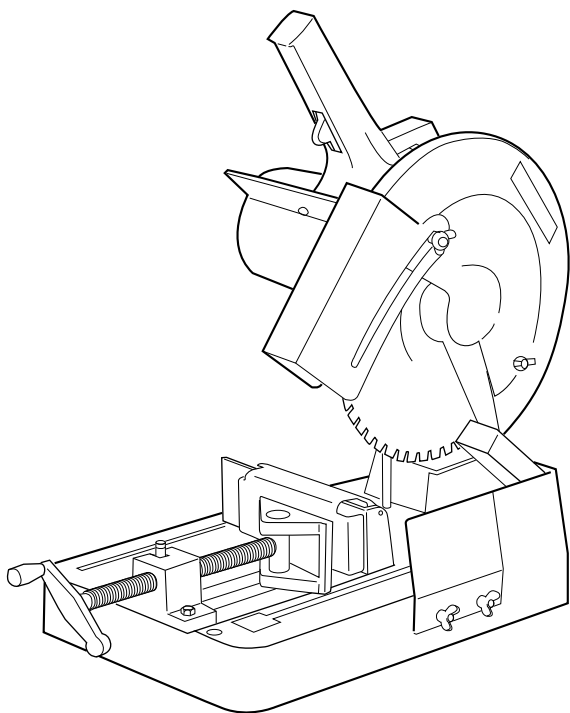




# チップソー切断機 グローバルソーカッター

GMC-305, GMC-355

## 取扱説明書



### もくじ

■安全上のご注意	1～6
■各部の名称	7
■仕様・付属品・用途	8
■切断能力	9
■ご使用前の準備	10
■操作方法	11～17
■保守と点検	17～18

このたびは、モトユキグローバルソーカッターをお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

# 安全上のご注意

●火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。

●ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「△」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

●「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

●他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

## 警告

### A) 作業環境

1. 作業場は、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
  - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
  - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
  - ・ 注意が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。

### B) 電気に関する安全事項

1. 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグを改造したり、アースした電動工具と一緒にアダプタプラグを使用しないでください。
  - ・ 改造していない電源プラグと適切な電源コンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. パイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させないようにしてください。
  - ・ 感電するおそれがあります。

# 警告

3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
  - ・ 電動工具内部に水が入り、感電するおそれがあります。
  - ・ 感電のおそれがあるので、ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
  - ・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、電源プラグを抜くために引っ張ったりしないでください。
  - ・ 電源コードを熱、油、角のあるところや動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、からまって感電するおそれがあります。
5. 屋外で使用する場合、屋外使用に適した延長コードを使用してください。
  - ・ キャブタイヤケーブルの延長コードを使用すれば、感電のリスクが低減されます。

## C) 作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業してください。
  - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意し、常識を働かせて慎重に作業してください。
  - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。
  - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
  - ・ 作業時は、常に保護めがねを使用し、必要に応じて、防じんマスク、すべり防止安全靴、ヘルメット、耳栓（イヤマフ）などを着用することで、傷害事故が低減されます。
3. 不意な始動は避けてください。
  - ・ 電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
  - ・ スイッチに指をかけて運んだり、スイッチがオンになった電動工具の電源プラグを電源コンセントにさし込むと事故の原因になります。
4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取外してください。
  - ・ 電源を入れたときに、取付けたキーやレンチなどが回転して傷害のおそれがあります。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
  - ・ 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つことで、予期しない状況でも適切に操作することが出来ます。
  - ・ 材料を動かして加工する製品を除き、クランプや万力などを利用し材料をしっかりと固定して加工してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

# 警告

## 6. きちんとした服装で作業してください。

- ・ 回転部に巻込まれるおそれがあるので、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用せず、髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- ・ 屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。

## 7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ・ 集じん装置を使用することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

## D) 電動工具の使用と手入れ

### 1. 無理して使用せず作業に合った電動工具を使用してください。

- ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
- ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。

### 2. スイッチに異常がないか点検してください。

- ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。ご購入前にお買い上げの販売店または（株）モトユキに修理を依頼してください。

### 3. 意図しない電動工具の始動を防ぐために、次の場合はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電動工具の調整や刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合
- ・ 保管、または修理する場合
- ・ その他危険が予想される場合

### 4. 使用しない電動工具は、乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。また、電動工具の操作に不慣れな方には電動工具を使用させないでください。

- ・ 不慣れな方のご使用は危険です。

### 5. 電動工具の保守点検をしてください。

- ・ 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 保守点検が不十分な場合、事故の原因になります。
- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
- ・ 取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店または（株）モトユキに修理を依頼してください。
- ・ スイッチで始動、及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
- ・ スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店または（株）モトユキに修理を依頼してください。

# 警告

- ・電源コードは定期的に点検し、損傷している場合はお買い上げの販売店または(株)モトユキに修理を依頼してください。
  - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
  - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
  - ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
    - ・先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
  7. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせて、それらの取扱説明書に従ってご使用ください。
    - ・指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
  8. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

## E) 整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
  - ・本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
  - ・修理は、必ずお買い上げの販売店または(株)モトユキに依頼してください。
  - ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがのおそれがあります。

## 騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

# グローバルソーカッターご使用に際して

先に電動工具として共通の警告・注意事項を述べましたが、グローバルソーカッターをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

## 警告

1. 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
  - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 補助ガードは、絶対に固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
  - ・チップソーが露出しすぎ、けがの原因になります。
3. 使用中は、チップソーや回転部、切粉の排出部に手や顔を近づけないでください。
  - ・けがの原因になります。
4. 使用中は、機械の調子が悪かったり、異常音が生じたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店または（株）モトユキに点検・修理を依頼してください。
  - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
5. チップソーや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
  - ・確実にないと外れたりし、けがの原因になります。
6. チップソーは、本取扱説明書またはモトユキチップソーカタログで指定のチップソーをご使用ください。
  - ・指定以外の刃物を使用されますと、チップ飛びやチップソーの割れなどによるけがの原因になります。
7. 切断材は確実に固定してください。
  - ・使用中、切断材が動きますと、チップが飛んだり、材料が飛びけがの原因になります。
8. 切断中は、保護めがね、耳栓などを着用してください。
  - ・切粉やチップのかけらなどが目などに入り、けがの原因になります。
9. チップソーの交換は、この取扱説明書の手順に従って確実に行ってください。
  - ・確実にしないと使用中にチップソーが外れ、けがの原因になります。
10. 無理な切断はしないでください。
  - ・急な切込みや送りは、チップ欠けやチップソー破損によるけがの原因になります。

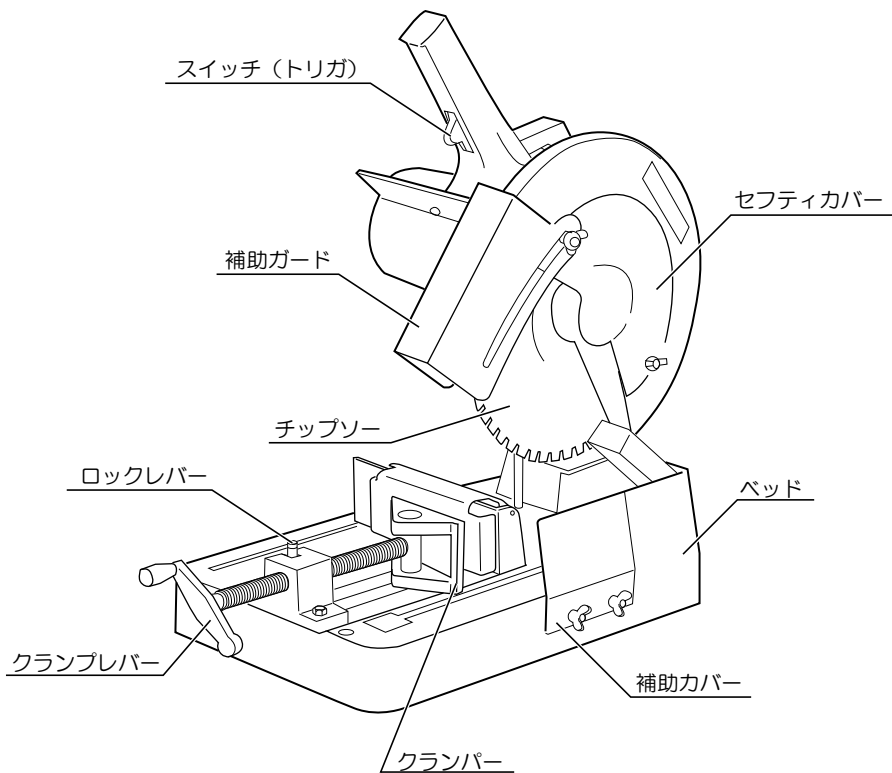
# ⚠ 注意

1. チップソーにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
  - ・異常があるとけがの原因になります。
2. 使用中は、軍手など巻込まれるおそれのある手袋を着用しないでください。
  - ・回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
3. 切断直後のチップソー、切断材や切りくずは高温になっているので、触れないでください。
  - ・やけどの原因になります。
4. 切粉に注意してください。
  - ・切粉は薄くなっており、素手で触ったり、靴の中などに入った場合けがの原因になります。

## ■チップソーご使用に際して

1. チップソーに曲がり、ヒビ、割れ、破損などの異常がないことを確認してください。これらの異常を発見した場合は絶対に使用しないでください。
  - ・けがの原因になります。
2. チップソーは使用中に火花を発生することがあります。引火や爆発の危険のある所では使用しないでください。
3. 切断はチップソーの回転を充分あげてから行なってください。  
切断材にチップソーを当てたままスイッチを入れたり、急激に送り込んだりしないでください。
  - ・けがの原因になります。
4. 指定された用途以外に使用しないでください。刃物に合わない材料を切断すると刃先の異常摩耗、脱落、切れ味不良、異常過熱などが発生し、チップソーが破損する場合があります。
  - ・けがの原因になります。
5. 切断送りは切断材が切れ始めるまでゆっくり送り、その後いちばん火花の少ない状態を目安に送り込んでください。  
終始ゆっくりとした送り込みは刃先摩耗が早くなります。少し強めに押し込んだ方が長切れします。
6. 連続切断はチップソーが高温になり切れ味の低下を早めますのでご注意ください。
7. 切断時には多少チップが欠けることがありますが、切断には支障ありません。  
適度なチップ欠けは、チップ摩耗の良き自生作用となり、シャープな切れ味を保つ要因となります。

# 各部の名称





# 仕様・付属品・用途

## ●仕様

	GMC-305	GMC-355
電源	単相・交流 100V 50/60Hz	
定格電流	15A	
消費電力	1,450W	
無負荷回転速度	1,500min <sup>-1</sup>	1,250min <sup>-1</sup>
刃物寸法 (外径×刃厚×穴径)	305 × 2.2 × 25.4mm	355 × 2.4 × 25.4mm
本体寸法 (長さ×幅×高さ)	525 × 290 × 595mm	525 × 290 × 605mm
コード長さ	5m	
質量	16kg	17kg

## ●付属品

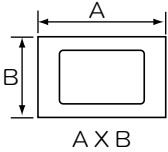
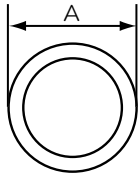
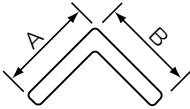
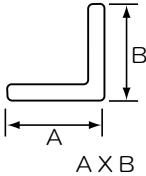
- ・六角棒レンチ…………… 1
- ・保護めがね…………… 1
- ・補助カバー…………… 1
- ・蝶ボルト…………… 2
- ・鉄・ステンレス兼用チップソー …… 1  
(GMC-305 外径 305mm × 刃厚 2.2mm × 穴径 25.4mm 歯数 54)  
(GMC-355 外径 355mm × 刃厚 2.4mm × 穴径 25.4mm 歯数 64)

## ●用途

- ・各種切断  
形鋼……アングル鋼、チャンネル鋼など  
パイプ……ライニング管（塩化ビニルライニング）、鉄管、塩ビパイプなど  
軽量材……ハンガーレール、レースウェイ、アルミサッシなど  
棒鋼……丸棒、寸切りボルトなど

# 切断能力

## ●切断能力

切断角度 切断形状	GMC-305		GMC-355	
	90° (直角)	45°	90° (直角)	45°
(角パイプ)  A X B	120 X 75mm 100 X 85mm  バイス移動時 150 X 75mm 100 X 100mm	75 X 95mm	125 X 100mm  バイス移動時 155 X 100mm	75 X 100mm
(パイプ)  A	115mm	90mm	120 mm	100mm
(アングル)  A X B	90X90mm	—	90 X 90 mm	—
(アングル)  A X B	—	75 X 90 mm	—	75 X 100 mm

# ご使用前の準備

## ●作業場に関して

- ・作業場は整頓をし、明るくしてご使用ください。

## ●据付け

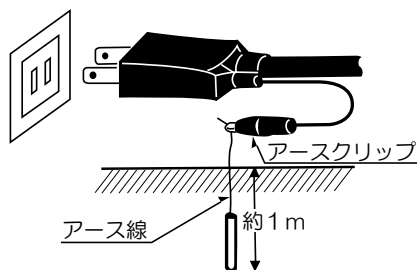
- ・傾斜のない平坦な場所へ、安定した状態に据付けてください。

## ●漏電しゃ断器について

- ・ご使用前に、本機が接続される電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置（漏電しゃ断器）が設置されていることを確認してください。

## ●アースについて

- ・感電事故防止の為、ご使用に先だち必ず接地（アース）してください。接地する場合はコード端にあるアースクリップを使用してください。
- ・アースクリップやアース線に異常のないことを確認してください。テスターや絶縁抵抗計でアースクリップと本体の金属部（外部）間の導通を確認してください。
- ・アース棒やアース板を地中に埋込み、アース線を接続する電気工事は電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事店にご相談ください。



# 操作方法

## ●スイッチの扱い方

### ⚠ 警告

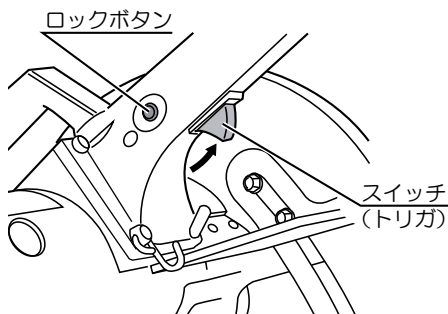
- ・使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

- ・スイッチ操作はトリガを引くと入り、放すと切れます。

また、トリガを引いた状態で握り部側面にあるロックボタンを押すと、トリガから指を放してもスイッチは入ったままになります。

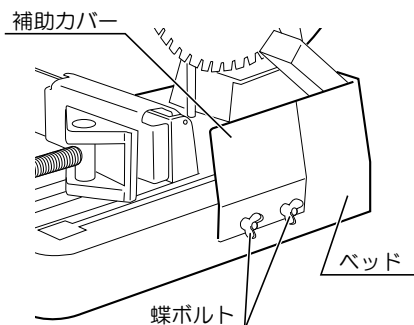
この場合、再度トリガを引くとロックボタンが解除され、スイッチは切れます。

連続ご使用の場合は、このロックボタンをご利用ください。



## ●補助カバーの取付け

- ・直角切断をする場合は付属品の補助カバーを取付けて使用してください。
- ・補助カバーは付属品の2本の蝶ボルトで、ベッド側面に取付けます。
- ・バイス移動時には補助カバーを前方につけ替えて使用してください。



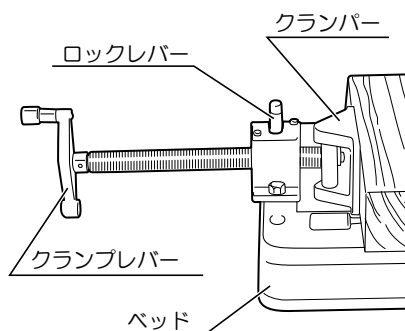
傾斜切断時には、材料が補助カバーに当たりますので取外してください。

## ●バイスの使用法

### ⚠警告

・バイスの操作は必ずスイッチを切り、チップソーが回転していない状態で行なってください。チップソーが回転しているときがの原因になります。

- ・材料の締付けはクランパーが材料に当たるまで、クランプレバーを押し付けた後、ロックレバーを倒しクランプレバーを回して確実に材料をバイスに固定します。
- ・バイスを開く場合、ロックレバーを上げた状態で、クランプレバーを手前に引いてください。簡単にバイスを開くことができます。



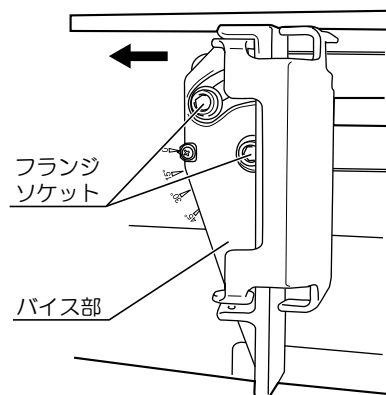
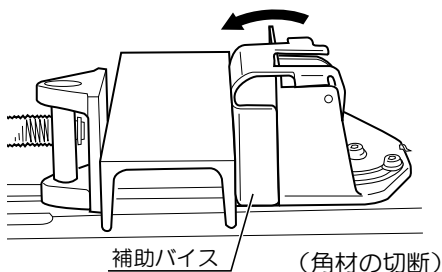
### (角材)

- ・直角切断で幅 95 × 高さ 75mm 以下の角材を切断する場合は、補助バイスを前に倒して材料を締付けてください。能率の良い切断ができ、チップソーの寿命も長くなります。

### ⚠注意

- ・バイスを後ろへ移動させた状態で傾斜切断をしないでください。チップソーがバイスに当たり破損したり、けがの原因になります。
- ・直角切断で下表寸法の角材を切断する場合は、バイス部の2本のフランジソケットを外し、バイス部を後ろへ移動させてください。

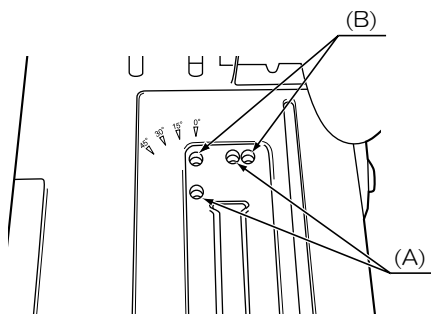
	幅 (mm)	X	高さ (mm)
GMC-305	120 ~ 150	X	75 以下
	100	X	100
GMC-355	125 ~ 155	X	100 以下



C型チャンネル鋼 (リップ鋼) は必ず補助バイスを前に倒してください。

# 操作方法

- ・パイスのセット位置は、次の通りです。
  - (A) 前部セット位置（直角切断および傾斜切断する場合）
  - (B) 後部セット位置（直角切断のみ可、傾斜切断は不可）

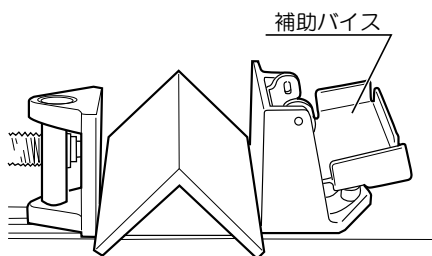


## (アングル)

- ・アングルおよび幅 95 × 高さ 75mm 以上の角材を切断する場合は、補助パイスを起こして使用してください。



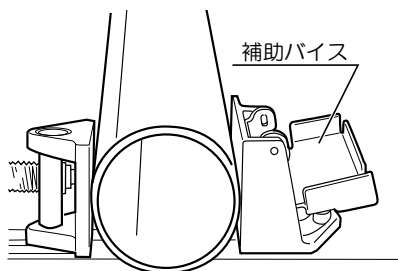
アングルを 90° で切断する場合には、山置きにしてパイスで固定してください。



(アングル切断)

## (パイプ)

- ・パイプを切断する場合は、補助パイスを起こし、クランプレバーで材料を締付けてください。



(パイプ切断)

## ●切断

### ⚠ 警告

- ・補助ガードは、身体がチップソーに触れるのを防ぐものです。必ずチップソーをおおい使用してください。チップソーが露出するとけがの原因になります。
- ・補助ガードを固定して使うことはしないでください。けがの原因になります。
- ・使用中は、保護めがねをかけて使用するようにしてください。保護めがねがないとけがの原因になります。
- ・切断する材料は確実に保持してください。材料の保持が確実にないとビビリなどによる反発や刃物破損がおこりやすく、けがの原因になります。

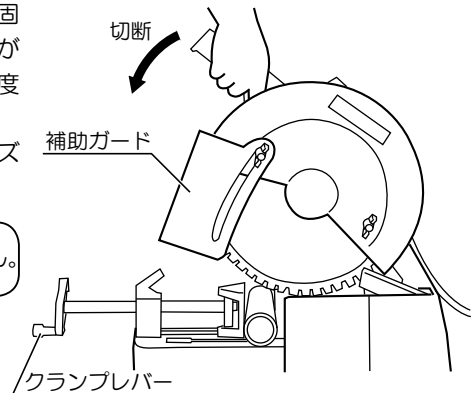
### ⚠ 注意

- ・切断部材にチップソーを当てたままスイッチを入れたり、急激な送り込みはしないでください。チップ欠けなどによるけがの原因になります。

- ・切断作業は材料をバイスで必ずしっかりと固定し、切り始めはゆっくりと、チップソーが喰い込んでからは最も火花の少ない送り速度で切断してください。
- ・切断作業を始める前に補助ガードがスムーズに動くことを確認してください。



パイプ、丸材の束ね切りはできません。



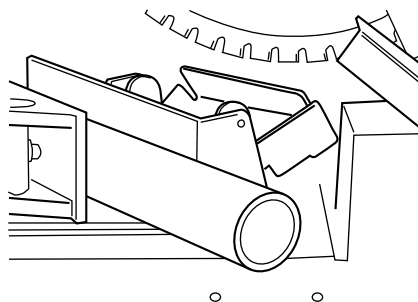
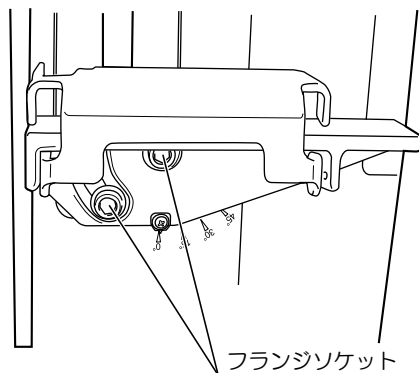
# 操作方法

## ● 傾斜切断

### ⚠ 注意

・ 傾斜切断時は、補助バイスを使用しないでください。補助バイスを前に倒して使用するとチップソーが補助バイスに当たり破損するばかりでなく、けがの原因になります。

- ・ バイス後方の2本のフランジソケットをゆるめ、バイスを0～45°の範囲の必要な角度に動かして、フランジソケットを締付け固定します。（角度目盛の表示は15°間隔となっています。）
- ・ クランプレバーで材料を締付け、切断してください。





## ●チップソーの交換

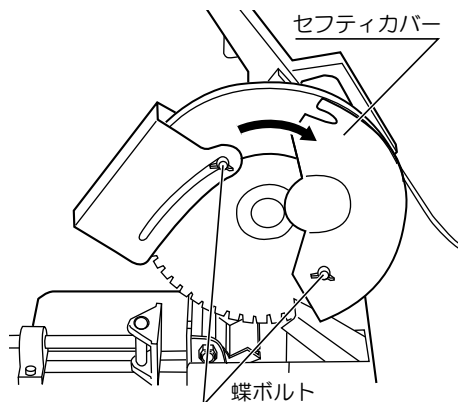
### ⚠警告

- ・チップソーの取付け、取外しの前に、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な起動によるけがの原因になります。

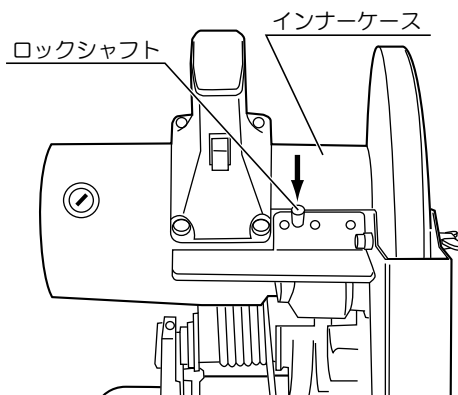
### ⚠注意

- ・チップソーにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してください。異常がある場合の原因になります。

- ① セフティカバーを固定している2本の蝶ボルトをゆるめ、セフティカバーを上方に回転させます。

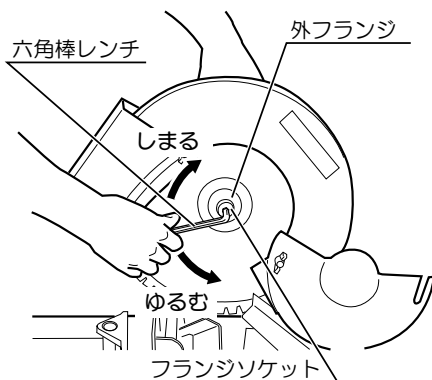


- ② インナーケース部のロックシャフトを押しながらチップソーを手でゆっくり回し、ロックシャフトを固定します。

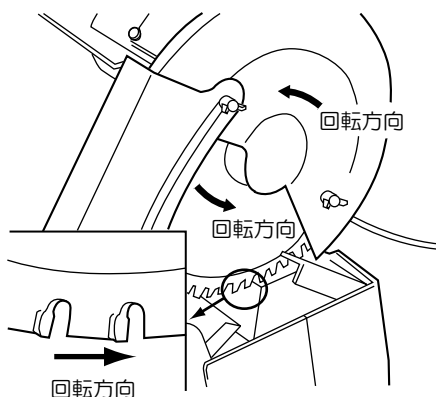


# 操作方法

- ③ 付属品の六角棒レンチでフランジソケットをゆるめます。補助ガードを押し上げて、フランジソケット、外フランジ、チップソーの順に取外します。



- ④ 取付けは、取外しと逆の要領で行ないます。この時チップソーの向きと機械の回転方向に十分注意してください。



# 保守と点検

## ⚠ 警告

- ・ 保守、点検、部品交換などのお手入れの前には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

### ●各部取付けネジの点検

- ・ ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

## ●使用後の手入れ

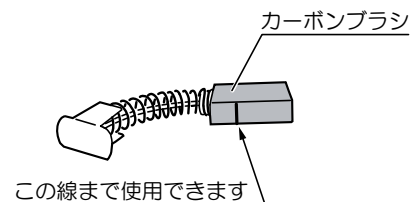
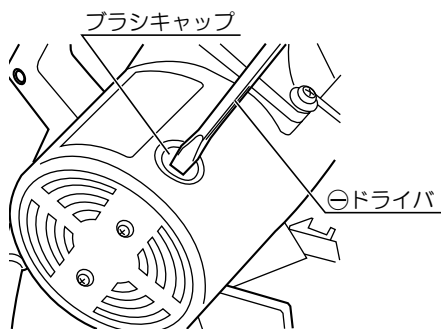
- ・ 機械各部の切削屑を取除き使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体を拭いてください。
- ・ ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

## ●作業後の保管

- ・ 高温にならない乾燥した場所に保管してください。
- ・ お子さまの手の届く範囲や、落下のおそれがあるところは避けてください。

## ●カーボンブラシについて

- ・ 本機はモーター部に消耗品のカーボンブラシを使用しています。カーボンブラシは全長の1/3（線の入った位置）程度に摩耗したら新しいカーボンブラシと交換してください。短くなったカーボンブラシをそのまま使用すると、火花が大きくなり、モーター焼損の原因となる場合があります。
- ・ ブラシキャップを⊖ドライバで取外し、カーボンブラシを取出してください。
- ・ カーボンブラシは2個1セットです。交換するときは指定のカーボンブラシを使用し、2個とも交換してください。  
この時、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くことを確認してください。



## ●修理について

- ・ 本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店または(株)モトユキにご用命ください。その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、  
ご遠慮なくお買い上げの販売店または（株）モトユキにお問い合わせ  
ください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。



**株式会社 モトユキ**

本社 〒590-0982 大阪府堺市堺区海山町 5-187-1  
TEL (072) 227-8420 (代)  
FAX (072) 227-6321 (代)

